

福岡市オンデマンド交通社会実験
評価講評

令和4年8月10日

福岡市オンデマンド交通社会実験に係る評価委員会

福岡市オンデマンド交通社会実験に係る評価委員会（以下、「評価委員会」という。）は、福岡市オンデマンド交通社会実験（以下、「本社会実験」という。）に関して、提案内容等の評価を行いましたので、評価結果及び評価講評をここに報告します。

令和4年8月10日

福岡市オンデマンド交通社会実験に係る評価委員会
委員長 辰巳 浩

【目次】

1	評価委員会の構成	1
2	評価委員会の開催経過	1
3	評価の方法	2
4	評価の結果	2
	（1）参加資格審査	2
	（2）事業提案評価	2
5	評価講評	8
	（1）内容評価の講評	8
	（2）総評	11

1 評価委員会の構成

評価委員会の構成は、以下のとおりです。

(役職は令和4年4月時点)

	氏名	役職名
委員長	辰巳 浩	福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授
副委員長	萩島 理	九州大学 総合理工学研究院 教授
委員	藤田 和子	公認会計士・税理士
委員	松岡 淳	福岡市 住宅都市局 都市計画部長
委員	西林 一彦	福岡市 市民局 コミュニティ推進部長

2 評価委員会の開催経過

評価委員会の開催経過は、以下のとおりです。

日程	会議名	主な議題
令和4年4月12日	第1回 評価委員会	提案競技実施要領等について
令和4年6月17日	第2回 評価委員会	「福岡市オンデマンド交通社会実験」 に係る候補地域等について
令和4年7月14日	第3回 評価委員会	「福岡市オンデマンド交通社会実験」 提案競技に係る事業者評価について

3 評価の方法

評価は、応募者の参加資格を審査する「参加資格審査」、提案内容を評価する「事業提案評価」に分けて実施しました。

「参加資格審査」では、応募者の参加資格について、市が提案競技実施要領（令和4年4月15日公表）の参加資格要件に基づき審査を行いました。

「事業提案評価」では、評価委員会が、具体的な提案内容の評価を行いました。

4 評価の結果

（1）参加資格審査

令和4年5月20日までに、2グループから提案競技参加申込書等の提出があり、提案競技実施要領等に示す参加資格要件の具備について市が審査した結果、いずれのグループも参加資格を有していることを確認し、令和4年5月26日付けで、参加資格の審査結果を各グループへ通知するとともに、いずれのグループも参加資格を有する旨を市が公表しました。

（2）事業提案評価

ア 内容評価

市は、候補地域を選定し、令和4年6月17日付けで公表するとともに、各グループへ通知し、企画提案を求めました。

評価委員会は、企画提案書の提出あった2グループについて、下記のとおり、グループ名を「K」、「R」とし、Kグループからの提案を、エリア①「提案24」、エリア②「提案65」、エリア③「提案85」、Rグループからの提案を、エリア①「提案48」とし、内容評価を行いました。

応募			提案番号
グループ名	エリア	候補地域	
K	①	美和台・和白東・三苦校区	24
	②	老司・鶴田・弥永西・弥永・日佐校区	65
	③	小笹・草ヶ江・赤坂・長尾・七隈・金山・片江校区	85
R	①	美和台・和白東・三苦校区	48

内容評価の計算にあたっては、小数点以下を四捨五入としました。

内容評価については、以下の5つの評価区分の基準により評価を行いました。

図表 内容評価における点数付与基準

評価区分	判断基準	加算割合
A	非常に優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.75
C	適切な提案がなされている	配点×0.50
D	やや劣っている	配点×0.25
E	劣っている	配点×0

各委員が、エリア①に対して提案された「提案24」、「提案48」の提案書を評価した内容評価の結果は、以下のとおりです。

項目	小項目	配点	提案	エリア①						
				委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	平均点	
(1)実施体制	乗務員数、車両数、営業所	50	提案24	C	B	B	B	B	35	
			提案48	B	B	B	B	C	35	
	安全性確保、緊急時対応	50	提案24	B	B	B	B	B	38	
			提案48	A	B	B	B	B	40	
	利用状況の把握・分析	50	提案24	B	B	B	B	A	40	
			提案48	B	B	B	B	B	38	
	類似事例	50	提案24	C	B	B	C	B	33	
			提案48	A	B	A	B	B	43	
(2)システム	特徴、仕様	50	提案24	B	B	A	A	A	45	
			提案48	B	B	B	B	C	35	
	導入実績	50	提案24	A	A	A	A	A	50	
			提案48	A	C	A	B	B	40	
(3)提案	採算性確保、利用促進	100	提案24	B	B	A	A	B	85	
			提案48	C	B	B	B	C	65	
	利便性	予約方法	100	提案24	B	B	A	A	A	45
				提案48	B	B	A	A	C	40
		決済方法	100	提案24	B	B	A	A	A	45
				提案48	C	C	C	C	C	25
	提案内容	100	提案24	B	A	A	A	A	95	
			提案48	B	B	B	B	C	70	
	マネジメント、スケジュール	100	提案24	B	B	A	A	A	90	
			提案48	C	C	C	B	C	55	

各委員が、エリア②に対して提案された「提案 65」の提案書を評価した内容評価の結果は、以下のとおりです。

項目	小項目	配点	提案	エリア②						
				委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	平均点	
(1)実施体制	乗務員数、車両数、営業所	50	提案65	C	B	B	B	A	38	
	安全性確保、緊急時対応	50	提案65	B	B	B	B	B	38	
	利用状況の把握・分析	50	提案65	B	B	B	B	A	40	
	類似事例	50	提案65	C	B	B	C	B	33	
(2)システム	特徴、仕様	50	提案65	B	B	A	A	A	45	
	導入実績	50	提案65	A	A	A	A	A	50	
(3)提案	採算性確保、利用促進	100	提案65	B	B	A	A	B	85	
	利便性	予約方法	50	提案65	B	B	A	A	A	45
		決済方法	50	提案65	B	B	A	A	A	45
	提案内容	100	提案65	B	A	A	A	A	95	
	マネジメント、スケジュール	100	提案65	B	B	A	A	A	90	

各委員が、エリア③に対して提案された「提案 85」の提案書を評価した内容評価の結果は、以下のとおりです。

項目	小項目	配点	提案	エリア③						
				委員 ①	委員 ②	委員 ③	委員 ④	委員 ⑤	平均点	
(1)実施体制	乗務員数、車両数、営業所	50	提案85	C	B	B	B	A	38	
	安全性確保、緊急時対応	50	提案85	B	B	B	B	B	38	
	利用状況の把握・分析	50	提案85	B	B	B	B	A	40	
	類似事例	50	提案85	C	B	B	C	B	33	
(2)システム	特徴、仕様	50	提案85	B	B	A	A	A	45	
	導入実績	50	提案85	A	A	A	A	A	50	
(3)提案	採算性確保、利用促進	100	提案85	B	B	A	A	B	85	
	利便性	予約方法	50	提案85	B	B	A	A	A	45
		決済方法	50	提案85	B	B	A	A	A	45
	提案内容	100	提案85	B	A	A	A	A	95	
	マネジメント、スケジュール	100	提案85	B	B	A	A	B	85	

各委員の評価結果に応じて、点数付与基準を各評価項目の配点に乗じて算出した内容評価の点数は以下のとおりです。

項目	小項目	配点	エリア①		エリア②	エリア③
			提案24	提案48	提案65	提案85
(1)実施体制	乗務員数、車両数、営業所	50	35	35	38	38
	安全性確保、緊急時対応	50	38	40	38	38
	利用状況の把握・分析	50	40	38	40	40
	類似事例	50	33	43	33	33
実施体制 小計		200	146	156	149	149
(2)システム	特徴、仕様	50	45	35	45	45
	導入実績	50	50	40	50	50
システム 小計		100	95	75	95	95
(3)提案	採算性確保、利用促進	100	85	65	85	85
	利便性	100	90	65	90	90
	提案内容	100	95	70	95	95
	マネジメント、スケジュール	100	90	55	90	85
提案 小計		400	360	255	360	355
内容評価点 合計		700	601	486	604	599

イ 価格評価

提案価格（市負担金額）に対して、提案価格の最低額を基準とし、次式で価格評価点を市が算出しました。

$$\text{価格評価点} = \text{配点 (300 点)} \times \text{最低提案価格} / \text{提案価格}$$

価格評価点の計算にあたっては、小数点以下を四捨五入としました。価格評価の結果は以下のとおりです。

エリア①	提案 24	提案 48
提案価格（円）	8,109,000	10,000,000
価格評価点	300	243

エリア②	提案 65
提案価格（円）	8,009,000
価格評価点	300

エリア③	提案 85
提案価格（円）	9,494,000
価格評価点	300

ウ 総合評価

市において、内容評価点と価格評価点を合計して総合評価点を算出しました。

エリア①	提案 24	提案 48
内容評価点	601	486
価格評価点	300	243
総合評価点	901	729

エリア②	提案 65
内容評価点	604
価格評価点	300
総合評価点	904

エリア③	提案 85
内容評価点	599
価格評価点	300
総合評価点	899

市は、提案競技実施要領、評価委員会の評価を踏まえ、エリア①については、「提案 24」、エリア②については、「提案 65」、エリア③については、「提案 85」を最優秀提案者として選定しました。

5 評価講評

(1) 内容評価の講評

ア エリア①

項目	小項目	評価講評
(1) 実施体制	乗務員数、車両数、 営業所	・ いずれのグループも適切に運行が可能な体制が評価された。
	安全性確保、緊急時対応	・ いずれのグループも安全確保に関する研修の実施、緊急時対応マニュアル等が策定されている点が評価された。
	利用状況の把握・分析	・ いずれのグループもシステムを活用し、利用者数や利用区間、利用時間帯などの利用実態が把握できる点が評価された。
	類似事例	・ いずれのグループも類似事例の実績が評価された。
(2) システム	特徴、仕様	・ いずれのグループも AI を活用して最適なルートを選定する点が評価された。 ・ 提案 24 は、柔軟なシステム設定が可能な点が高く評価された。
	導入実績	・ いずれのグループも導入実績が評価された。 ・ 提案 24 は、全国多数の導入実績が高く評価された。
(3) 提案	採算性確保、利用促進	・ いずれのグループもチラシ作成配布や利用説明会による周知などの利用促進に向けた取組みや協賛金確保に向けた取組みが評価された。 ・ 提案 24 は、運行地域専用のパンフレット制作などの利用促進やスポンサー制度などの採算性確保の具体的な取組みが高く評価された。
	利便性	・ いずれのグループも電話およびインターネットでの予約方法などの利便性が評価された。 ・ 提案 24 は、多様な決済手段が高く評価された。
	提案内容	・ いずれのグループも地域ニーズに応じた提案となっている点が評価された。 ・ 提案 24 は、地域の特性に応じた乗り場や運賃設定等の運行計画案が高く評価された。
	マネジメント、 スケジュール	・ いずれのグループも具体的なマネジメントが評価された。 ・ 提案 24 は、早期の運行開始に向けたスケジュールやマネジメント体制が高く評価された。

イ エリア②

項目	小項目	評価講評
(1) 実施体制	乗務員数、車両数、 営業所	・ 適切に運行が可能な体制が評価された。
	安全性確保、緊急時対応	・ 安全確保に関する研修の実施、緊急時対応マニュアルが策定されている点が評価された。
	利用状況の把握・分析	・ システムを活用し、利用者数や利用区間、利用時間帯などの利用実態が把握できる点が評価された。
	類似事例	・ 類似事例の実績が評価された。
(2) システム	特徴、仕様	・ AI を活用して最適ルートを選定する点や柔軟なシステム設定が可能な点が高く評価された。
	導入実績	・ 全国多数の類似例の導入実績が高く評価された。
(3) 提案	採算性確保、利用促進	・ チラシ作成配布や利用説明会による周知および、運行地域専用のパンフレット制作などの利用促進やスポンサー制度などの採算性確保に向けた取組みが高く評価された。
	利便性	・ 電話およびインターネットでの予約方法や多様な決済手段などの利便性が高く評価された。
	提案内容	・ 地域ニーズ等に応じた乗り場・運賃設定等の運行計画案が高く評価された。
	マネジメント、 スケジュール	・ 具体的なマネジメントや早期の運行開始に向けたスケジュールやマネジメント体制が高く評価された。

ウ エリア③

項目	小項目	評価講評
(1) 実施体制	乗務員数、車両数、 営業所	・ 適切に運行が可能な体制が評価された。
	安全性確保、緊急時対応	・ 安全確保に関する研修の実施、緊急時対応マニュアルが策定されている点が評価された。
	利用状況の把握・分析	・ システムを活用し、利用者数や利用区間、利用時間帯などの利用実態が把握できる点が評価された。
	類似事例	・ 類似事例の実績が評価された。
(2) システム	特徴、仕様	・ AI を活用して最適ルートを選定する点や柔軟なシステム設定が可能な点が高く評価された。
	導入実績	・ 全国多数の類似例の導入実績が高く評価された。
(3) 提案	採算性確保、利用促進	・ チラシ作成配布や利用説明会による周知および、運行地域専用のパンフレット制作などの利用促進やスポンサー制度など採算性確保に向けた取組みが高く評価された。
	利便性	・ 電話およびインターネットでの予約方法や多様な決済手段などの利便性が高く評価された。
	提案内容	・ 地域ニーズ等に応じた乗り場・運賃設定等の運行計画案が高く評価された。
	マネジメント、 スケジュール	・ 具体的なマネジメントや早期の運行開始に向けたスケジュールやマネジメント体制が高く評価された。

(2) 総評

評価委員会は、提案競技実施要領等に基づき、厳正かつ公正に評価を行いました。

各応募者の提案内容は、本社会実験の趣旨や地域のニーズを踏まえた、創意工夫を凝らした提案でした。

また、提案書作成にあたっての努力についても高く評価しており、応募事業者に敬意を払うとともに、深く感謝する次第です。

今後、評価委員会の内容評価の結果を踏まえ、市により決定された最優秀提案者が、本社会実験を実施されるにあたっては、本事業をさらによりよいものとするため、以下の点に留意されることを要望します。

- ・高齢化の進展等に伴い生活交通確保の取組みが重要であり、公共交通が不便な地域の生活交通確保に向けて、地域等としっかり連携しながら、利便性向上や利用促進等に主体的に取り組んでいただくとともに、多くの人が利用できるよう、幅広く周知を行っていただきたい。
- ・運行計画の策定及び運行にあたっては、安全性確保はもちろんのこと、地域や関係者等としっかり協議・連携を行っていただきたい。

最後に、豊富な実績とノウハウを有する最優秀提案者、地域、市が、お互い良好なパートナーシップのもと取り組み、本社会実験が軌道にのって、今後の持続可能な生活交通確保の仕組みづくりの一助となるよう期待します。